

留寿都小学校学校便り

令和2年7月31日



べにまる

発行責任者

松原 康雄

1学期の終わりに

松原 康雄

新型コロナウイルス感染症の影響により未経験の連続だった1学期が終了しました。今年度は授業日数の不足分を補うため、7月31日まで授業日とさせていただきました。ご協力頂きありがとうございました。学校生活も以前と同じというわけにもいかず、登校時や校舎内に入るときの手洗いや消毒、教室内の換気、密にならない授業の工夫等、これまで以上に意識をする場面が多くなりました。また子どもたちが楽しみにしていた運動会やプール学習も中止としましたが、地域の方々等のご協力も得ながらできるだけ例年と同じ学習活動が行われるよう努めてまいりました。児童会活動も再開し、子どもたちは創意工夫を凝らして取り組みました。子どもたちの様子を見てみると、学校に集い学習に取り組むことができることの有り難さを改めて認識しました。

さて、明日から17日間の夏休みが始まります。臨時休業中の休みより制約が減り、心の不安も少なくなった長期休業です。望ましい生活リズムを保ちながら北海道ならではのさわやかな夏を満喫し、気持ちのリフレッシュを図ってほしいと思います。話しは変わりますが、私はNHKの番組「日本人のおなまえっ！」を見るのを楽しみにしています。名前の由来を知るとその方のご先祖がどのような方であったのかを知ることができ、日本の歴史の一端を知ることができるからです。夏休みの後半はお盆があります。これを機会に自分の家系の歴史について振り返ってみるのも楽しいかもしれませんね。

最後になりますが、夏休み中は留寿都村にも多くの方が訪れます。新型コロナウイルス感染症のリスクが通常よりも高まることを意識し、①屋内・屋外であっても密になる行動は控える、②マスクの着用と手洗いをこまめに行う、③風邪の症状が見られる場合は外出をしない、を心がけてくださいますようお願いいたします。ただしマスクについては、熱中症を予防するため、2m以上の間隔をとることができる場合ははずすことができます。気温や体調を勘案しご家庭での判断をお願いいたします。

8月18日(火)は2学期始業式です。子どもたちの元気な姿が見られることを楽しみにしています。



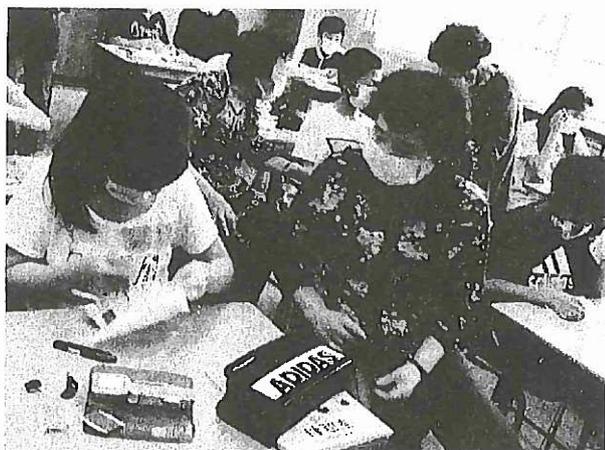
前期児童総会

児童会活動が始まり、延期されていた児童総会を行いました。各委員会の計画に対し、学級で審議し、質問や意見を出します。みんなで考えを出し合うことで、よりよい児童会活動になるように工夫していく話し合いができました。活動の回数は例年より少ないですが、各委員会が様々な企画をして、学校生活を充実したものにします。



盲導犬体験（留寿都高校と合同）

隔年で行われていた、留寿都高校での盲導犬体験ですが、今回から3・4年生が参加することで、全員が体験できるようにしました。高校の体育館に行き、盲導犬協会の方からお話を聞きます。とても真剣に聞いていました。その後、実際に目が見えない状況で、盲導犬と歩く体験をしました。普段は気付かないことに気づき、優しい街作りを考えるきっかけになったのではないのでしょうか。



家庭科（裁縫）

今年度も、村の社会福祉協議会の協力で「みやこ会」の方々に来ていただきました。5年生の家庭科で取り組む裁縫の授業を手伝っていただきました。いろいろな縫い方を学習するので、苦労している子供達に丁寧に教えていただきました。ありがとうございました。

※2 学期始業式は8月18日（火）です。4時間授業（給食有り）です。